

キャビネットタイプ

キャビネットごとにアクセス権を設定でき、多くの人が利用する収納物を安全に管理できます



① キャビネットコントローラ

ICカードのユーザーIDを解析し、電気錠の解錠/施錠制御や、扉の開閉を監視して履歴の記録やこじ開け発報を行います。



② 認証装置

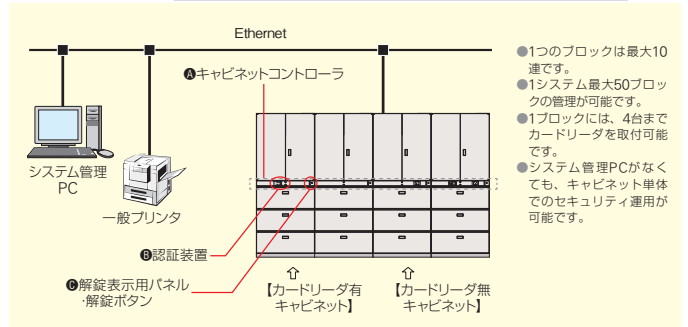
LCD表示部、カードリーダ、テンキーで構成され、操作ガイド・状態表示と非接触ICカードの認証を行います。テンキー併用の認証も可能です。

③ 解錠表示用パネル・解錠ボタン

キャビネットの解錠可能状態の表示と解錠操作を行います。

■システム構成図

セキュアシンラインIIについてはP.718も併せてご参照ください。



■操作手順

LCD表示

この間交互表示

カードリーダボタン操作

メッセージパネルの利用待ち状態。

カードリーダにカードをかざし認証する。

利用できるキャビネットの解錠表示用パネルが点灯し、解錠ボタンが点滅する。

利用するキャビネットの解錠ボタンを押下すると解錠ボタンが点灯に変わり、扉（引出し）のロックが解錠される。

キャビネットの利用が終了し扉（引出し）を閉める。

扉（引出し）が自動施錠され、解錠表示用パネルと解錠ボタンが消灯して、利用待ち状態に戻る。

ロッカータイプ

扉単位でアクセス権を設定でき、不正解錠を防ぎ、個人情報等をしっかり守ります



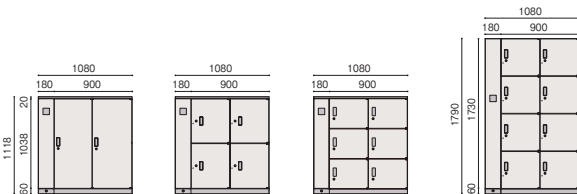
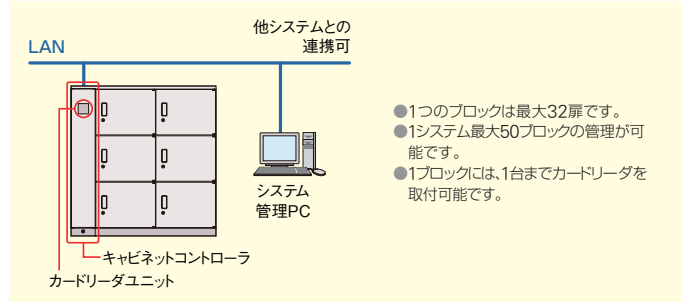
カードリーダ（認証部）

非接触ICカードのID情報を読み取り、認証を行います。認証成功は青い○、認証失敗は赤い×、光・色・音でわかりやすく表示します。

扉部LEDランプ

カードリーダで認証されたアクセス権のある扉は緑のLEDランプが点灯します。

■システム構成図



■操作手順

扉①にアクセス権のあるAさんが物品を出し入れする場合

認証部

利用待ち状態（スタンバイ）ではカードリーダの白いLEDランプが点灯している。

カードリーダにAさんのICカードをかざすと、青い○が点灯する。

扉①の、緑のLEDランプが点灯し、解錠される。

扉①を開き、物品の出し入れをし、扉を閉める。

自動的に施錠し、カードリーダが利用待ち状態に戻る。利用した扉のみに利用履歴が残る。